

あしたのために'23 三重県立聾学校進路指導部通信

その2 2024年2月13日(火)

2023年度も残りあとわずかとなり、新しい年度に向けて少しずつ動き出しています。このたび、2学期の進路だよりが大幅に遅れてしまいましたことお詫び申し上げます。

2学期は、多くの進路の取り組みがありました。高等部3年生の就職試験・大学入試、幼稚部・小学部保護者対象の授業見学会、中高進路講座に加え、各学部で校外学習や交流学习、仕事の勉強などキャリア教育に関わる学習を行いました。

そして、2024年に入り、ようやく高等部3年生の生徒の進路がすべて決まりました。いつもよりも進路決定までに長い時間が必要でしたが、子どもたちは自分の望む進路をつかみ取りました。

中学部3年生の生徒や来年度最終学年になる子どもたちも、自分の目指す進路を見つけるために、たくさん経験をしてほしいです。(主事 宮本)



本年度の進路報告 (2月1日現在・内定順)

高等部

住友ファーマ株式会社 鈴鹿工場 (鈴鹿市)
DMG森精機株式会社 伊賀事業所 (伊賀市)
国立大学法人 筑波技術大学 産業技術学部 (つくば市)
カーサ・アルモニ (就労継続支援A型) 「アルモニ・カフェ」 (桑名市)
多機能型事業所 ふたみ農園 (就労継続支援B型) (伊勢市)

高等部専攻科

シグマフロンティア株式会社 (特例子会社) 松阪作業所 (松阪市)

※中学部も含めた本年度の確定進路については、次号でお知らせいたします。

幼稚部・小学部 進路説明会&学部見学会

年に1回、学部見学会と進路説明会を実施しています。これは、授業参観ではなく将来どんな内容を勉強していくのか、上の学部の授業の様子を知るためのものです。可能であれば、地域の学校の見学にも行っていただき、進路を考えることができると思います。

進路説明会では、各学部でのキャリア教育と昨

今の進路を取り巻く状況について説明をしました。幼・小・中の保護者の方も、聾学校卒業後の進路について知りたい場合は、高等部の進路担当が相談いたします。



高等部就労体験報告会のお知らせ

1月22日(月)から26日(金)までの5日間、高等部1・2年生と高等部専攻科1年生の19名が、居住地域の事業所にて就労体験実習をさせていただきました。(ご協力いただいた19の事業所は下記の通りです)

2月14日(水)に2年生と専攻科が、15日(木)に1年生が、今回の経験を報告会で発表いたします。ぜひ、保護者の皆様にも見ていただき、将来の進路のイメージを持っていただけましたら嬉しいです。

就労体験実習 実施協力事業所

| | |
|----------------------------|-----------------|
| 三重県信用保証協会 | 熊野市役所 |
| シンフォニアエンジニアリング 伊勢事業所 | 住友電装 鈴鹿製作所 |
| 百五オフィスサービス | ジョイリハ津東丸之内 |
| パナソニックインダストリー メカトロニクス事業部伊勢 | 光機械製作所 本社 |
| 松阪鉄工所 本社工場 | LIXIL 伊賀上野工場 |
| G・Sエレテック 菰野工場 | 憩いの里津ケアホーム |
| 横浜ゴム 三重工場 | 紀北作業所 |
| 興伊勢営農センター川添 | 遠山病院 |
| サンコーロジテック株式会社 | シグマフロンティア 松阪作業所 |
| ろう・重複センター ひまわり | |

就労体験報告会 オンライン配信情報

高等部2年・高等部専攻科1年
2月14日(水) 13:30~15:15



高等部1年
2月15日(木) 13:30~15:15



ご家庭でのキャリア教育 「根拠のない自信をつける」には?

良い結果に基づいた自信、すなわち「根拠のある自信」はもちろん大切なのですが、これは根拠となる事実がなくなると消えてしまいます。

「根拠のない自信」は、そのような条件付きの自信ではなく、「理由はないけれど、うまくいくような気がする」という無条件に自分を信じる力であり、人が生きていく上で、とても重要なものです。では、「根拠のない自信」を育むにはどうすればいいのでしょうか。

①ありのままを受け入れる

「親からありのままを受け入れられ、愛されているという実感」がもっとも重要な心の支えを育みます。

②苦手なことに固執しない

苦手なことをがんばって克服することは大切なことですが、苦手なことにこだわり過ぎると、劣等感を増してしまう可能性があります。

③子どもを信じる

親が子どもを信じることで、子は親を信じ、自分を信じるできるようになります。

④親は聞き手にまわる

子どもと話をするときは「そうだったんだ」「わかるよ」と聞き手にまわるよう、耳を傾けると、心を開いて話す関係につながります。

⑤立ち直る力を育む

子どもが失敗したときに、他と比べるのではなく、良い面に着目して「よくがんばったね」「勇気があったね」と認めてあげます。

参考文献

「子育てベスト100」加藤紀子 ダイアモンド社

中高進路講座開催

名古屋ろう国際センター 理事長 金 南琬 (キム ナムユン) さん
在日外国人ろう者 金田 竜也 (キム サンホ) さん

- 言葉のかべや社会にあるバリア
- コミュニケーションの力と社会でのいきる力
- 人生を切り開く自己実現に向けて

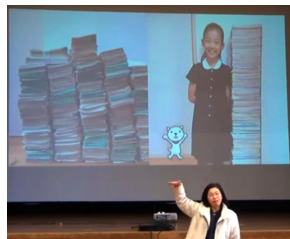


昨年12月7日(木)、名古屋ろう国際センター理事長であられる金 南琬(キム ナムユン)さんと在日外国人ろう者の金田竜也(キム サンホ)さんをお招きし、中学部・高等部の生徒を対象に「社会を切り開く力」を演題として、上記の内容についてお話しいただきました。

韓国生まれの金さんは、高校時代にろう者・手話に出逢い、人として輝いて生きる上で手話が力になったといいます。その後、手話通訳士として活動し、結婚後、来日。当初は日本語が全く分からず、寂しい思いをした。日本語教室の受講料は高く断念。韓国人のろう者の友人と共に日本手話を学び、手話から日本語を学んだといいます。漢字も難しかったが、手話が支えになったとも。

全国に国際センターと呼ばれる耳の聞こえる外国人のための支援センターはあるが、聞こえない外国人のための支援センターは全国をみてもどこにもなかった。耳の聞こえない外国人が、聞こえる外国人と同じ日本語学校に通っても、授業内容は聞こえる外国人と同じようには伝わらないのではと疑問に感じられた。彼らに学びの場を提供し、日本語が読め、文化の壁を越えて共生ができるように、日本語教室を始められたと金さん。

金さんの日本語教室では、子どもたちもたくさん来所し、毎日5枚、10枚と日本語の課題に取り組んでいて、身長に達するほどになると。



金さんの日本語教室で学んだろう者の金田さんは、来所する子どもたちの世話や送迎に取り組んでみえるのだそう。

金さんのこれまでの取組を通して、学んだこととは

コミュニケーションの力と社会で生きる力をつけるには

- ・コツコツやる
- ・毎日する
- ・継続は力なり



「金田さんは、仕事をお休みしません。熱が37度くらいでは、休みません。遅刻もありません。毎日10分前に出勤します。そして毎日コツコツ、挨拶する。そうすると聴者たちは、金田さんの頑張っている姿が見える。挨拶はコミュニケーションの基本。挨拶できる人は良い人と受け止められます」野球選手のイチローさんも次のように言います。

「夢や目標を達成するには、1つしか方法がない。小さなことを積み重ねること。」(イチロー)

人生を切り拓く自己実現に向けて

- 毎日コツコツ
- ・やってみること！
- ・挑戦してみること！



一歩ずつ一歩ずつ、やってみる、挑戦してみる行動することが大切！ それをからだで表現しました。

中高進路講座～生徒の感想から (抜粋)

毎日コツコツ・まずは一歩ずつ進む

- 勉強も運動も毎日コツコツ続けていくことが大事だなと思いました。好きなことだけじゃなく、受験勉強も少しずつ始めていきたいと思います。日本と韓国の手話が60%から70%同じなことにびっくりしました。
- くじけそうなことがあっても諦めない気持ち、コツコツ毎日挑戦する、人生を生きる上でも大切なことだと思った。聾者、難聴である上に外国人という要素も含まれると、コミュニケーションにおいて大きな高い壁が作られるのを自分も外国語を学ぶ上で感じていました。それをとっばらうには想像よりも小さな努力の積み重ねが大切だと学べました。
- 社会に出て、どんな事が起こるかは分からない。一歩一歩少しずつ目標や夢に向かって歩いていく。考えてばかりよりもいろんな経験をかさねていくということであらためて分かりました。
- 毎日コツコツ努力することで、目標を達成できるという話を聞いて、良いなと思った。今までの進路講座で面白いと思ったことはあまりなかったのですが、金さんは話をひきよせる力があつたので、ものすごく面白かった。
- 「考えるより1歩ずつ歩く」ことです。考えてから歩いていくと思っていたのですごく心に残りました。

言語を学ぶこと

- ろう者や外国の人が日本語を学ぶことの難しさが分かった。様々な人と手話を学ぶことは自分の成長にもつながると感じた。
- 韓国から日本に来て日本語もわからないまま手話を覚えてから日本語を勉強するのがすごいと思いました。
- 日本人でも日本語を学ぶ人がいると知り、驚きました。確かに考えてみれば手話には助詞がないし、語順も変わってくるから全く別のものだと思えて認識できました。動画の中で実際に言語を勉強している方の笑顔で言葉の壁を乗り越えようとしている姿が美しかったです。
- 愛知の聾学校に行つて指導などしていた事。私は口話が苦手なタイプで、手話とか、筆談などしてもらわないと出来ないのが苦手なタイプの人に合わせられる聾学校が増えてほしいと思いました。

韓国・国際社会

- 韓国の聾者から話を聞いたことがなかったので、とても良い経験になりました。韓国に行つてみたいけど韓国語が話せないで困っていましたが、韓国の手話の60%は日本と同じ手話だと聞いて安心しました。タイやインドネシアなどの国の手話もあれば知りたいなと思いました。
- 韓国語と日本語の手話は同じところがあつて、でもちがうところもあることがわかりました。だから、勉強するということが心に残りました。
- 韓国と日本の手話は似ているところがあるというのに驚いた。
- 日本に来た外国人のことにについてあまり知らなかったのでも勉強になりました。韓国手話は調べても全く出てこなかったの、見ている世界が少し広がりました。
- 外国人のための日本語教室は知っていたけど日本人のろう者のための教室は初めて知つたので確かに必要だなと思いました。
- 国際で出会ったりする人がいるのをテレビで聞いたことがあつて、どちらかが、外国人だったら大変そうだなと思いました。外国人の親を持つ家庭に配慮が欲しいのではないかと感じられました。

金さんのポジティブな生き方

- キムさんは韓国から日本に来たとき、日本語が分からず、人とのコミュニケーションが大変だったと聞きました。私も入学当初は手話が分からず、友達の会話についていけませんでた。だからキムさんの来日時の気持ちが、とてもよく分かるなと思いました。
- キムさんは毎日手話と日本語を勉強し、ポジティブに生きていこう！という希望あふれたお話に感動しました。
- 自分が昔、別の人と話がわからずかなしい気持ちになったことを活かして教室を開いた事は行動力、人としてすてきだと思いました。



あしたのために その2 毎日コツコツ小さなことを積み重ねること